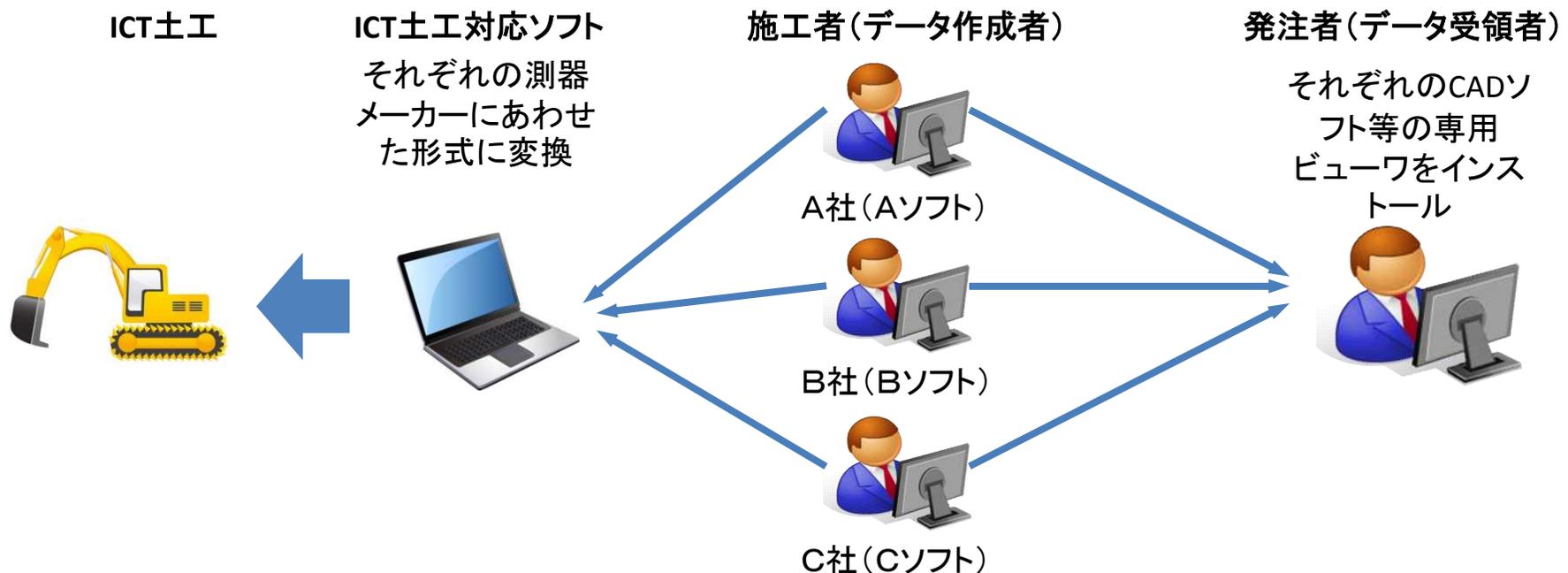


No.23 施工者、発注者が設計データを確認できるビューワ、共通活用できるデータ形式がほしい

ニーズの概要

- 作成した3DデータはLandXML形式ファイルを受け取ってもすぐに議論できない
- 見る側は作成されたソフトに対応するビューワをインストールしなければならないが、作る側のソフトは複数あるためすべてを入れる必要がありPCに負荷がかかる
- 理想と現実のギャップがCADソフト・測器メーカー等それぞれの仕組みに制約され本来の効率化にはつながっていない
- IFC連携は変換精度が低く不具合が多いため活用できない
- 作成から活用までに複数システムが入るため二度手間・三度手間が当たり前となり効率化を目指すはずが技術者の負担を作りだしている。



No.23 施工者、発注者が設計データを確認できるビューワ、共通活用できるデータ形式がほしい

期待するシースズ

- 互換性があり変換精度の高いデータ形式、各ソフト共通のPCビューワ・情報共有システムASPビューワがあれば、各者が簡単・スムーズに閲覧・協議できる。そうすれば手間は軽減され双方の意思決定が早まることと、さらにASPによる情報共有と協議が行いやすくなりメリットが増す。

